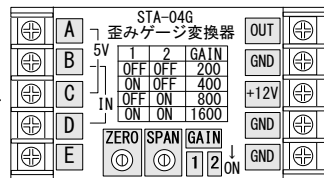
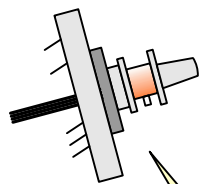
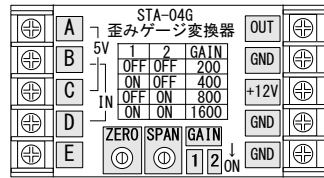
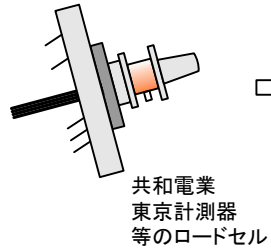
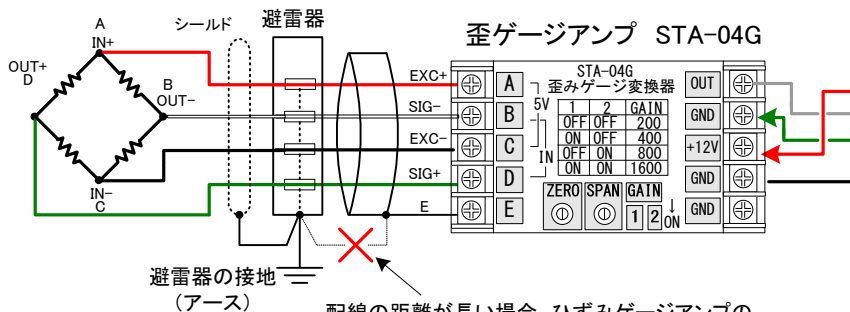


1CHロガーGTR-01AのRS-485ネットワーク計測システム例

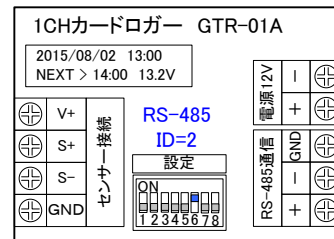
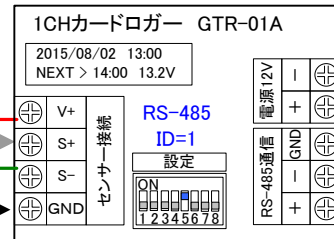
2015/08/02 ジオテクスサービス株式会社

アンカーのロードセルの場合 (350Ω × 4ゲージ)

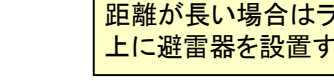
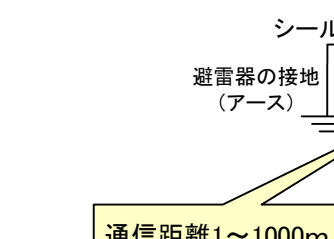
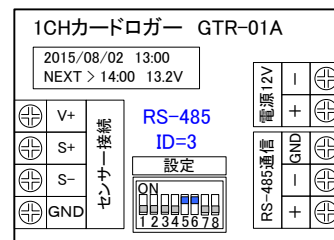


1箇所あたりの消費電流
休止時 1.5mA
計測時 アンプ15mA+ロガー25mA
通信時 ロガー30mA

注意: 東京測器研究所のロードセルの場合、「縮み=荷重増=電圧出力増」の極性を持つので注意。但し、ブリッジ出力の線の色も緑-, 白+と逆であるので、「加重増=出力増」の場合は、結線の順番は上記と同じでよい。



通信距離1~1000m
距離が長い場合はライン上に避雷器を設置する



ツイストペア線
例: FCPEV 0.65mm2 × 2P

